

「日本活断層学会 2019 年度秋季学術大会」のお知らせ（第 1 報）

2019 年度秋季学術大会実行委員会

日本活断層学会 2019 年度秋季学術大会を、東京大学地震研究所および東京大学弥生講堂において、以下の日程で開催します。多数の皆様の御参加をお待ちしております。

1. 日程

2019 年 10 月 5 日(土)～6 日(日)

10 月 5 日(土) 一般研究発表, 懇親会

10 月 6 日(日) 一般研究発表, シンポジウム

2. 会場

一般研究発表: 東京大学地震研究所 セミナー室・他 (東京都文京区弥生 1-1-1)

<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/access/>

シンポジウム: 東京大学弥生講堂 一条ホール(同上, 東京大学農学部内)

<https://www.a.u-tokyo.ac.jp/yayoi/map.html>

3. 大会シンポジウム

テーマ: 「技術革新がもたらす活断層研究の新たな展開 (仮)」

概要: 1995 年兵庫県南部地震を契機とした全国的な活断層の調査研究から四半世紀近くが経過し、地球科学を取り巻く技術的環境は一変しました。その結果、以前では考えられなかった広域的かつ高時空間分解能の調査観測データを比較的容易に取得出来るようになり、活断層に関する見方も大きく変わりつつあります。その一方で、新しい技術の適用範囲や問題点について共通認識を得ることは、新たな技術のニーズを掘り起こし、さらなる技術革新に繋がると期待されます。以上の背景から、本シンポジウムでは、活断層研究に適用可能な最新の調査・観測・解析技術と適用例、またその課題や今後の発展について、幅広い議論を行いたいと思います。

- ・一般研究発表(口頭・ポスター)の受付開始は 7 月下旬(8 月下旬締切)の予定です。
- ・シンポジウム, 参加費および申し込み方法, 懇親会等につきましては, 第 2 報でお知らせする予定です。
- ・今大会では, 企業展示 (ポスター会場でのボードを使用した展示および予稿集での広告掲載 1 ページ) を募集いたします。賛助会員は 1 件につき 1 万円, 非会員は 1 件につき 2 万円をお受けします。ご興味のある方は大会実行委員会までご連絡ください。

お問い合わせ先: 大会実行委員会 tokyo-af-fm2019@freeml.com